



## 【第1部：公募概要】

〈イノベーション企画支援事業〉

# デジタルスキル研修&就労支援を通じた シングルマザーのエンパワーメントと地域格差の解消

## 実行団体公募概要

本公募概要は、グラミン日本の助成事業に特化した公募要領です。休眠預金資金活用制度の助成に関する一般的な規定や注意事項等については、第2部公募要領詳細《2023年度「民間公益活動を推進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく通常枠 実行団体公募要領》を必ず確認してください。

2023年11月

一般社団法人グラミン日本

はじめに

日本の格差・貧困問題は深刻さを増しており、特にシングルマザーの状況は深刻です。厚生労働省によると、母子世帯全国 123.2 万世帯中 43.8%が非正規雇用に従事しており、平均年間就労収入は 200 万円。これは児童のいる世帯の平均所得の 49.2%という水準です。

また、地域間の所得格差も深刻であり、関東地方と九州・沖縄地方との平均所得の差は 1.45 倍と大きな開きがあります。地方在住のシングルマザーの貧困は都市部に比べてさらに深刻なことがうかがえます。

一方で、在宅勤務の増加や政府の DX 推進により、デジタル化を担う人材の需要は今後さらに拡大すると予想され、ここにシングルマザーの活躍の場が生まれています。シングルマザーにとっても在宅勤務は子供との時間をより確保できる働き方であり、同時に収入拡大も期待できます。

当事業では、シングルマザーに対するデジタル研修・伴走支援・就労支援という《グラミン日本の支援モデル》を地方展開することで、地域のシングルマザーをエンパワーし、デジタル分野での起業・就業につなげることを目指します。グラミン日本は当事業により、上記のシングルマザーの貧困や地域間の所得格差、そしてデジタル人材不足という日本の社会課題の解決に取り組みます。

# 1. 本事業のビジョンと期待するアウトカム

グラミン日本のビジョンは、「生活困窮リスクを抱えるシングルマザーが、どのような境遇やバックグラウンドであっても、意思と意欲さえあればデジタル起業・就労を実現でき、家族と共に豊かで幸せな生活を送ることができる社会を実現すること」です。

本事業では、特に首都圏外の地域において生活困窮リスクを抱えるシングルマザー（※<sup>1)</sup>）を支援する実行団体に資金的・非資金的な支援を提供することで、以下のアウトカムを実現することを目指します。

- 生活困窮リスクを抱えるシングルマザーが、デジタルスキル研修&就労支援を軸とした支援プログラムに参加し、就労・転職・正社員化・副業・起業などを通じて収入を向上させる。
- 生活困窮リスクを抱えるシングルマザーが、デジタルスキルを活用してオンラインによる在宅勤務を実現することでより柔軟な働き方と新たなキャリアの追求が可能となり、経済的・社会的・精神的な自立度を高め、自身と家族のウェルビーイングを向上させる。
- 各実行団体が、策定した組織基盤構築計画に沿って組織基盤を強化し、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対するデジタルスキル研修&就労支援を持続可能な形で提供できる体制を確立する。
- 上記を通じてシングルマザーの所得水準に係る地域間格差を解消する。

（※1）「生活困窮リスクを抱えるシングルマザー」とは：

基本的に児童扶養手当支給世帯を想定しています。ただし、厳格な所得制限は設けず、ご本人や家族などが抱える様々な事情によって生活困窮リスクを抱えると判断できる場合には柔軟に対応してください。

## 2. 助成対象

### (1) 対象事業

助成対象となるのは、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーの自立を目的とした以下の包括的支援を行う事業です。基本的に、各実行団体には3年間で100名程度の生活困窮リスクを抱えるシングルマザーに対して包括的支援を行い、プログラム参加者が起業・就労等を通じて収入の改善と自立度の向上の目標を達成することを期待します。但し、プログラム内容によっては、プログラム参加者数を独自に設定していただいて構いません。

- デジタルスキル研修

在宅で柔軟な働き方を可能にするデジタルスキル研修。オンラインでの在宅勤務に必要なマイクロソフト・オフィススペシャリスト資格（MOS）、オンラインコミュニケーションツール、クラウドサービス、プロジェクト管理などの基本スキルから、コンテンツ作成、ウェブ・ライティング、デジタル・マーケティング、オンラインでの総務・経理・人事・秘書業務などのアウトソーシング受託、ウェブアプリケーション開発など、多様なスキルを想定しています。

- 伴走支援

生活困窮リスクを抱えるシングルマザーが、様々な困難を克服しながらデジタルスキル研修を修了し、自立に向けて進んでいくために必要な支援。伴走者の寄り添い支援やメンタリング・コーチング、課題に直面した際の相談対応など多様な支援を想定しています。また、彼女たちの孤独・孤立を解消するため、コミュニティ形成を通じたピア・サポートや1対1のカウンセリングも想定されます。

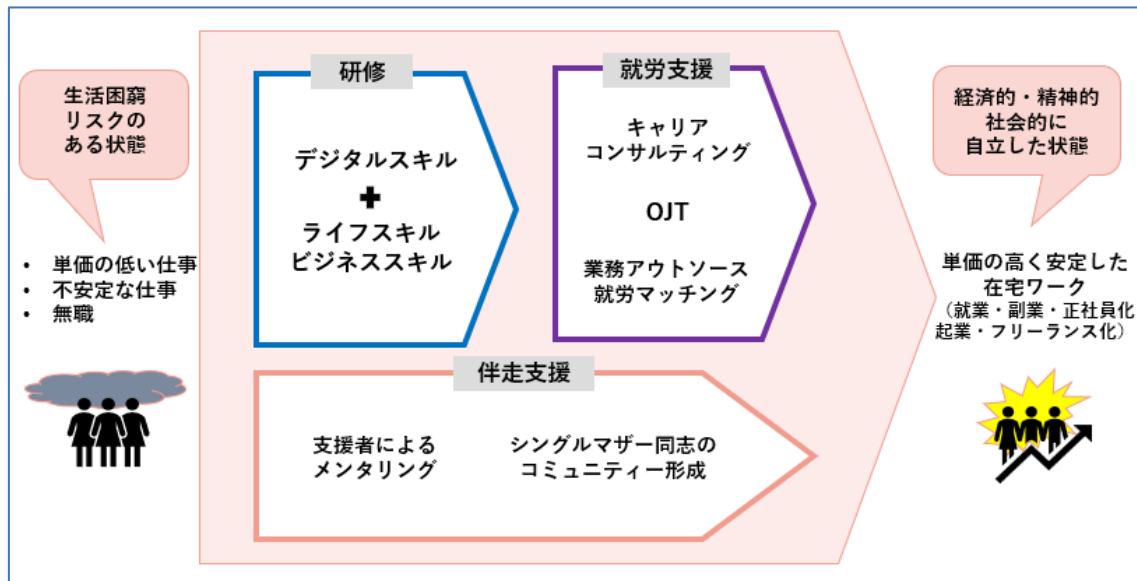
- 起業・就労支援

デジタルスキル研修を修了したシングルマザーが、そのスキルを活用して、就労、転職、正社員化や起業、副業、フリーランス化など、経済的に安定した柔軟な働き方を実現するために必要な支援。キャリア・カウンセリング、就労マッチング、オンザジョブトレーニング（OJT）を通じた就労準備、起業支援など、多様な支援を想定しています。

- その他支援

ターゲットとするシングルマザーの皆さんの状況に応じて、家計管理などのライフスキル研修や、ビジネスマナー、ビジネスコミュニケーション、タスク管理などの社会人基礎力を高めるスキル研修の提供なども期待します。

### シングルマザーを対象とした包括的支援モデル



なお、1 団体で全ての支援を提供できない場合は、外部団体と業務提携するコレクティブ・インパクト<sup>(※2)</sup>の取組みを推奨します。ただし申請はコンソーシアムではなく、必ず1 団体が申請主体となっていただきます。

(※2) 「コレクティブ・インパクト」とは：

様々なプレイヤーが共同して社会課題解決に取り組むための一つのスキーム。当事業では、申請主体となる団体が、専門分野の異なる外部団体と業務提携する形を想定しています。

#### 【コレクティブ・インパクト事業例】

##### 1. シングルマザー支援団体主導型

これまで伴走支援や生活相談、居場所の提供、自立支援などを通じて生活困窮リスクを抱えるシングルマザー支援を行ってきた団体が、デジタルスキル研修提供団体や起業・就労支援団体と提携して包括的支援を提供。

## 2. デジタルスキル研修団体主導型

これまで女性向けのオンライン・キャリア・スクールを運営してきた団体や、デジタルスキル研修を提供してきた団体が、生活困窮リスクを抱えるシングルマザーを対象にした新たな支援プログラムを立ち上げ、シングルマザー支援団体や起業・就労支援団体と提携して包括的支援を提供。

## 3. 起業・就労支援団体主導型

これまで、女性起業家の育成や女性に特化したキャリア・コンサルティングやジョブ・マッチングを行ってきた起業・就労支援団体が、新たに生活困窮リスクを抱えるシングルマザー支援プログラムを立ち上げ、シングルマザー支援団体やデジタルスキル研修団体と提携して包括的支援を提供。

## 4. シングルマザー雇用・業務発注事業者主導型

これまで、シングルマザーを対象に積極的に雇用・業務発注を行ってきた事業者が、さらなる人材確保やビジネス拡大のために生活困窮リスクを抱えるシングルマザーを対象にしたデジタルスキル研修&就労支援プログラムを新たに立ち上げ、シングルマザー支援団体やデジタルスキル研修団体の協力を得ながら包括的な支援を提供。

## (2) 対象地域

首都圏（一都三県）を除く地域

※ 当事業は地域格差の解消を目的の一つと位置付けているため、原則として首都圏外の地方で活動している団体への助成を重視します。ただし、仮に首都圏に拠点を持つ団体であっても、首都圏外の対象者に対してデジタルスキル研修&就労支援事業を展開する場合には助成対象とします。また、全国で支援事業を展開する場合には、首都圏以外の在住・在勤者への支援を重視しますが、首都圏在住・在勤者を支援対象から除外する必要はありません。

## (3) 事業期間

2024 年 4 月（契約締結日）～ 2027 年 2 月

(4) 採択予定数

6 団体

(5) 助成額

1 団体あたり 3000 万円（上限）

### 3. 対象となる団体

#### (1) 事業実績

これまで生活困窮リスクを抱えるシングルマザーを対象とした伴走支援、就労支援、デジタルスキル研修等の活動実績がある団体。但し、コレクティブ・インパクトの形で、シングルマザー支援の活動実績がある団体との連携・協働が確保されていれば、シングルマザー支援の活動実績がない団体も対象となります。

#### (2) 法人格

非営利法人（一般法人、公益法人、特定非営利活動法人、社会福祉法人等）、  
営利法人（株式会社等）

※ 任意団体は対象となりません。

※ その他、休眠預金事業として定める助成対象については、【第 2 部：公募要領詳細】  
第 1 編 3 章も必ずご確認ください。

※ 休眠預金事業では、申請時点で一定のガバナンス・コンプライアンス体制が求められます。詳細については【第 2 部：公募要領詳細】の別添 1 も必ずご確認ください。



## 4. 資金的支援の内容

### (1) 助成対象となる経費

助成の対象となる経費は、事業の実施に必要な直接事業費、事業の実施に関連した管理的経費、および事業評価に必要な評価関連経費です。資金計画の策定に当たっては、【第2部：公募要領詳細】の第1編4章および「積算の手引き」をご参照ください。

直接事業費として想定している経費の使途例は以下の通りですが、プログラムの内容に応じて自由に設定して構いません。なお、費目は各団体が通常使用している勘定科目に沿って設定してください。

直接事業費の使途例	具体的内容
プログラム運営	事業担当者の人件費、事業運営費など
シングルマザー支援	伴走支援、起業・就労支援などを担うスタッフの人件費、業務委託費など
デジタルスキル研修	研修プログラムの運営費や業務委託費、研修講師謝金など
プログラム参加者支援	プログラム参加に必要なパソコンの貸与、Wi-Fi 加入・アプリ購入や研修受講等の費用の一部補助など
広報・情報発信	募集案内や事業成果発信のためのウェブサイト開設費、参加者募集のための SNS 等広告費やちらし・パンフレット印刷費など
その他	通信・連絡費（システム費用含む）、旅費・交通費、消耗品費など

※ 助成額とは別途、評価関連経費を計上できます。詳細は【第2部：公募要領詳細】第1編2章03および「積算の手引き」をご参照ください。

## 5. 非資金的支援

グラミン日本は、上記の資金支援に加えて、以下の非資金支援を提供する予定です。

### 1. 伴走支援

実行団体が、休眠預金資金活用制度下で求められる事業計画・資金計画策定、評価、助成金管理・精算、事業報告などの諸手続を着実に実施できるよう、毎月1回の定例会合を通じて伴走支援します。

### 2. 事業運営支援

グラミン日本が独自に開発したシングルマザー支援のためのワークショップやマイクロファイナンスなどの事業を紹介し、実行団体が各自のプログラムに組み込む際には側面支援を行います。

### 3. 組織基盤構築支援

各実行団体が、休眠預金資金による助成期間終了後も事業を継続・発展できるよう、ガバナンス・コンプライアンス整備、資金調達、IT活用、広報・マーケティング、ネットワーク形成などの分野で組織基盤構築支援を行います。

### 4. 企業連携支援

支援を受けたシングルマザーが、着実に就職・転職や業務受注ができるよう、雇用・アウトソーシングを通じた自立支援活動に協力してくれる企業と実行団体との連携を側面的に支援します。

### 5. 出口戦略支援

休眠預金資金活用制度を通じた支援終了後も、実行団体がシングルマザー支援事業を継続・発展する出口戦略の策定を支援します。また、自治体等による成果連動型民間委託契約（PFS/SIB）の組成を目指す場合には、側面的に支援します。

## 6. 公募プロセスとスケジュール

公募要領公開	2023 年 11 月 30 日(木)
公募説明会開催（オンライン）	2023 年 12 月 8 日(金) 14：00- 12 日(火) 13：00- (後日グラミン日本のホームページにて動画を公開します)
個別相談会開催（オンライン）	2023 年 12 月 19 日(火)、22 日(金) 2024 年 1 月 9 日(火)、12 日(金)
公募締切（申請は電子メールのみ）	2024 年 1 月 31 日(水) 24 時締切
一次審査結果通知	2 月中旬
二次審査のヒアリングを実施予定	2 月下旬～3 月上旬
結果通知（電子メール）	3 月中旬
内定団体オリエンテーション	3 月下旬
契約締結、事業開始、助成金支払	4 月～

- ・ 審査に先立ち、必要に応じてヒアリング、面接、現地訪問による視察を実施します
- ・ 審査は専門家による審査委員会 を通じて実施します
- ・ 申請団体名、事業概要、選定結果の情報をグラミン日本休眠預金事業特設サイトにて公表します

## 7. 申請

### (1) 申請書類

申請書類については以下の通りとなります。申請様式はグラミン日本休眠預金事業ホームページからダウンロードいただくことが可能です。

<https://kyuminyokin.grameen.jp/news/pxKfNvDP>

#### 〈申請様式〉

- (様式 1) 助成申請書
- (様式 2) 事業計画書
- (様式 3) 資金計画書
- (様式 4) 団体情報
- (様式 5) 役員名簿
- (様式 6) ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書
- (様式 7) 自己資金に関する申請書
- 補足説明資料 (活動詳細・出口戦略・事業実施体制) ※グラミン日本オリジナル

#### 〈団体情報に関する書類〉

- 定款
- 登記事項証明書
- 事業報告書 (過去 3 年分) ※
- 決算報告書類 (貸借対照表、損益計算書、監事及び会計監査人による監査報告書) (過去 3 年分) ※

※ 設立から 3 年未満の団体は、提出可能な期間分について提出してください

### (2) 申請方法

下記アドレスまでメールにて提出 (2024 年 1 月 31 日 24 時締切)

提出先 wepmo2023@grameen.jp

※メールの表題は「【事業申請書】 + (申請団体名)」としてください

## 8. 選考基準

### (1) 休眠預金事業として定める基準

ガバナンス・コンプライアンス	包括的支援プログラムに示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	<p>事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われているか、また、解決したい社会課題に対して事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が妥当であるか</p> <p><b>【本事業の視点】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生活困窮リスクを抱えるシングルマザーが直面する課題とこれが発生する要因を適切に把握しているか</li> <li>2) この課題の解決に向けて、伴走支援やコミュニティ形成などの支援が適切に計画されているか</li> <li>3) 生活困窮リスクを抱えるシングルマザーのニーズに合ったデジタルスキル研修&amp;就労支援などを提供する事業計画となっているか</li> <li>4) プログラム参加・修了後のシングルマザーの起業・就労のあり方が、具体的・現実的に設定されているか 等</li> </ol>
実行可能性	<p>業務実施体制や計画、予算が適切か</p> <p><b>【本事業の視点】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 3年間で100名の生活困窮リスクを抱えるシングルマザーを支援するために必要な募集、伴走支援、デジタルスキル研修、就労支援、コミュニティ形成等の包括的支援が計画されているか</li> <li>2) この計画を適切に実施するために必要なスキルと経験を持ったスタッフが確保され、事業運営に必要な実施体制が確保されているか</li> <li>3) 休眠預金資金活用制度が求める計画策定、資金管理、評価・報告等の諸業務を適切に実施する運営管理体制が確保されているか</li> <li>4) 上記を実施する上で必要な経費が予算計画に計上されているか 等</li> </ol>

継続性	<p>助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か</p> <p><b>【本事業の視点】</b></p> <p>1) 助成終了後の支援継続に向けた出口戦略が具体的に計画されているか</p> <p>2) 特に株式会社については、助成終了後の支援継続を確保するための方策が明記されているか 等</p>
先駆性（革新性）	<p>社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか</p> <p><b>【本事業の視点】</b></p> <p>1) デジタルスキルの活用を通じた在宅での柔軟な働き方の実現など、従来の就労支援とは異なる革新的な取り組みとなっているか</p> <p>2) 企業が雇用とアウトソーシングを通じてシングルマザーの自立を支援する新しい仕組み作りに寄与することが期待されるか 等</p>
波及効果	<p>事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか</p> <p><b>【本事業の視点】</b></p> <p>1) 事業モデルは、地域や分野を超えて普及・発展する可能性を持っているか</p> <p>2) 事業モデルの普及・発展に向けた取り組みが事業計画に組み込まれているか 等</p>
連携と対話	<p>多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか</p> <p><b>【本事業の視点】</b></p> <p>1) 多様な団体と連携・協働するコレクティブ・インパクトとなっているか</p> <p>2) プログラムに参加したシングルマザーの就労先や業務発注先の確保に向けた、協力企業との対話・連携の推進が計画されているか</p>

## 9. 説明会・個別相談会

	日時	お申込み方法
オンライン 公募説明会	2023 年 12 月 8 日(金) 14:00- 12 日(火) 13:00- (後日グラミン日本の休眠預金特設サイトにて動画を公開します)	こちらのフォームより、前日の 17 時までにお申込み下さい <a href="https://forms.gle/tMX6awgiPuiDQnzDA">https://forms.gle/tMX6awgiPuiDQnzDA</a>
オンライン 個別相談会 (1 枠 30 分)	2023 年 12 月 19 日(火)、22 日(金) 2024 年 1 月 9(火)、12 日(金)	こちらのページより、前日の 17 時までにお申込み下さい <a href="https://timerex.net/s/wepmo2023_71b3/4cc2bd88">https://timerex.net/s/wepmo2023_71b3/4cc2bd88</a>

## 10. お問い合わせ先

一般社団法人グラミン日本  
休眠預金事業 事務局  
Email [weinquiry2023@grameen.jp](mailto:weinquiry2023@grameen.jp)